
フラワー少女と仮面ライダー

緑水 来夢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

フラワー少女と仮面ライダー

【Nコード】

N12040

【作者名】

緑水 来夢

【あらすじ】

フラワー少女・由梨亜は幼稚園児の幼い子だった。

仮面ライダーダブル・翔太郎・フィリップは由梨亜の力を知った。

これからの出来事は・・・

フラワー少女の力(前書き)

楽しんでみてもらえばうれしいです。

フラワー少女の力

春・・・桜が満開の季節、1人の少女があわててる。

?「幼稚園におくれちゃうよ〜」

?「由梨亜、早くしないとおいてくぞ〜!」

由「おにいちゃんひどい!」

兄「じゃあ早くしろ」

由「おにいちゃん、早く行こっ!」

兄「だれを待ってたと思ってるんだよ」

そのとき・・・。

ひゅーーう

兄「なんだ?」

?「ふっ」

兄「(くらっ)(由梨亜・・・。」「バタッ

由「おにいちゃん、しっかりして!」

？「おまえ・・・フラワー少女のという魔法少女の由梨亜か？」

由「いきなりなによ、そんなの知らないもん、おにいちゃんはどうなるの!？」

？「大丈夫だ、少しねてもらっているだけだ！ それにおまえ・・・

」

由「あなた、だれ？」

？「おれは翔太郎だ。「ぼくはフィリップだ」

由「早くおにいちゃんをおこしてよ」

フ「1つだけ聞く、この世界にガイアメモリはあるか？」

由「知らないもん。まだ幼稚園だもん！」

フ「・・・翔太郎ためしたほうがよさそうだな」

由「？」

翔「そーだな。フィリップいくぜ」

サイクロン ジョーカー

フ・翔「変身」

由「っ？ な・・・なに？」

仮・フ「ちょっとごめんよ。」

そう言っつて由梨亜のおにいちゃんを持ち上げ、空になげた。

由「おにいちゃん」

くるっ

由「お花さん力をかして！ フラワーショット」

そのとき花が集まり大きくなり、おにいちゃんをつつんだ。

由「はー、びっくりした。(くらっ)(」 バタッ

翔「由梨亜はすごい力をもっている」

フ「そーだな、ただ力をコントロールできないだけで・・・。」

兄「ここは？」

翔「探偵事務所だ」

兄「探偵事務所・・・おれはなんでここに・・・。」

フ「たおれていたんだ」

兄「そーですか。・・・由梨亜・・・！」

翔「由梨亜ちゃんはここにいます。」

兄「ホッ……。ありがとうございます！ではこれで。由梨亜、おきろ帰るぞ」

フ「そのままにしてあげてください。つかれていたようなので。」

兄「なんか、すみません」

由「んっ……おにいちゃ……ん？」

兄「由梨亜、おきたか……今日は幼稚園休もうな。じゃあ帰るぞ」

由「あ……うん」

外に出て……

兄「ここはどこだ。」

中に入って……

兄「あの……すみません。ここどこですか。」

翔「探偵事務……」

兄「そうじゃなくて……。」

フ「住所かい？分からないんだ……ごめん」

翔「そーいうときは……」

フ「秋ちゃん」

秋「はい？ フィリップくん」

フ「ここの住所分かる？」

秋「分からない。」

フ「そうか……。」

翔「役立たず。」

パソコンッ

翔「いたいなあ〜 いつもスリッパでなぐるなよ」

秋「ふんっ」

フ「でもこまったな〜。」

翔「家がわかるまでここにいればいいじゃん。」

フ「翔太郎、ナイスアイデアだ！ たまにはいいこというんだな。」

翔「ひどいぞ、フィリップ」

秋「フィリップくんの言ごとおりだよ」

兄「おれたちどうすれば……。」

秋「家分かるまでここにいなよ！」

兄「いや……そーいうわけには……。」

翔「大丈夫だ！」

フ「そーだよ！ 秋ちゃんが……」

翔「こまった事を解決する！」

パコンッ

秋「そんなの聞いてない、でもこまったらきいてね」

兄「えつと……」

翔「大丈夫だ！ 秋……」

秋「あんた、それでも探偵か」

パコンッ

翔「何回もたたくな」

兄「すいません。いろいろお世話になってしまって……よろし

くお願いします。」

由「よろしくね」

これから新たな出来事がはじまる

フラワー少女の力（後書き）

読んでくれてありがとうございます。

由梨亜は魔法少女！？（前書き）

作「こんちゃ」

翔太郎「最近小説書いてないよな」

作「うっ・・・気にすんな・・・」

フィリップ「本当に思っているか調べよう」

作「・・・」

フィリップ「キーワードは小説、フラワー少女と仮面ライダー」

作「わっっっ、もういい、やめてえ」

翔太郎「よくやった、フィリップ」

由梨亜「じゃあ、始まるよっ!」

由梨亜は魔法少女！？

フィ「由梨亜ちゃん、起きる時間だよ」

由梨亜「ふわ〜、もう少し……。」

翔「由梨亜起きろっ！」

由梨亜「うるさい、翔太郎……。」

翔（呼び捨てかよ）「いいから起きろ」

由梨亜「うるさい。ふふっ」

フィ（嫌な予感が……）

由梨亜「お花さん、力をかして！ 大きくなれ！」

そのとき、由梨亜が20才ぐらいになった。

由梨亜「翔太郎さん、もう少しねせて！ お願い」

涙目&お願いポーズ、翔太郎は……、

翔「お……おういいぜ」

ズゴーーーーー

フィ「翔太郎、なにだまされてるんだ！」

翔「えっなにが」

フィ「由梨亜にだまされてどうする!」

翔「・・・あっ・・・」

自分がどれほどバカかきずいた翔太郎。

翔「由梨亜起きろ。」

パチツ 由梨亜「ふわ〜、よく寝た。 ありがとうバカさん!」

翔「このやろっ、ふざ・・・」

由梨亜「なぐれる? この顔を?」

涙目に翔太郎の手をにぎる。

翔「うっ、まず、小さくなれ!」

ぼんっ

由梨亜「翔太郎って女の人に弱いんだね(笑)」

翔「/ / /」(幼稚園児にいわれた・・・。)

フィ「ドンマイ(笑)」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1204o/>

フラワー少女と仮面ライダー

2010年11月2日13時41分発行